

## [066] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10202>

---

出版情報：語文研究. 66/67, 1989-06-10. 九州大学国語国文学会  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

本年三月三十一日をもって奥村三雄先生は九州大学を御定年になられました。先生は万事格式ばったことがお嫌いということで、最終講義も普段通りに何一つ気負うことなく淡々と終えられました。最終講義には是非出席させていただきたいという御要望が何人もの方から寄せられました。先生の強い御要望もあって公式的な諸行事はすべて取り止めさせていただきました。

実のあることをというのが先生の基本的なプリンシプルとも言えるものでしたが、これなどはまさにその一つと言えらるものでしょう。御退官に際しての論文集の編纂には快くお許しをいただくことができました。先生の御退官を記念しては、別途、奥村先生と関係の深い先生方、及び国語学専攻の卒業生を中心に『奥村三雄教授退官記念・国語学論叢』（桜楓社）の編集がすすんでいます。御在任中、率先してそのもりたてに碎心してこられた本研究室の雑誌『語文研究』でも、御学恩の万分の一にもお報いすべく退官記念特集号を編むことにしました。国語学専攻の卒業生の多くは『国語学論叢』の方にまわってまいりましたので、本号は大学院生を中心にした清らかな国語学徒および文学専攻の卒業生の原稿などを中心に編集しました。

先生は、幸い御退官後も美和台にお住いとのこと、私どもも心強く思っています。御自愛の上、いついつまでもお元気で、私どものためにこれまで同様御指導賜りますようお願いいたします。本冊は、『国語学論叢』ともども本年六月の国文学会席上で先生に謹呈する運びになっています。原稿をお寄せいただいた方々、また、この

ような企画をお支え下さいました会員の皆様にあつく御礼申し上げます。  
(追野記)

### 規 定

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千円（各号二部配布）、通常会員二千円（各号一部配布）とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。